



# 大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō

Elementary School

<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

No.55

平成28年11月25日

冷え込みが続き、寒さが厳しさを増していますが、校内では、子どもたちの元気いっぱいの姿が見られます。また、インフルエンザA型が猛威を振るいかけています。手洗い・うがいを励行し、予防に努めましょう。さて、今号では、今週行われた様々な取組を中心にお伝えしていきます。

## 本物に触れ、本物から学ぶ”管弦楽とピアノの競演” ～ 芸術鑑賞を終えて～



演奏者の皆さん(写真の左から牧野さん、波塚さん、佐藤さん)



11月24日(木)の3時間目、帯広十勝はもとより全道で活躍されているバイオリニスト 牧野貴博さん、チェリスト 佐藤祐一さん、ピアニスト 波塚三恵子さんをお招きして音楽コンサートを開催することができました。

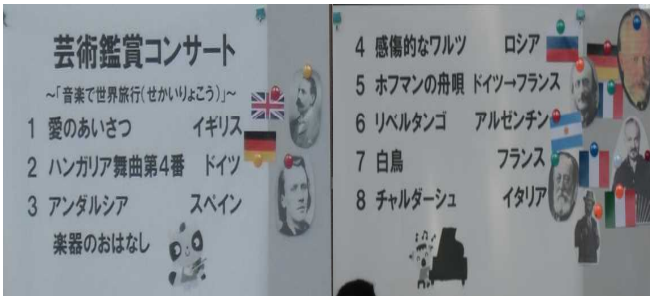
楽曲は8曲。時間にして

1時間あまり。体育館に染みわたるピアノとヴァイオリン、チェロの音色。子ども達一人ひとりが、『クラシックの世界』へ誘われ、静かにゆっくり流れる曲を聴きながら、有意義な時間を過ごすことができました。

子どもたちが、本物を通して感性が豊かに育っていくを感じた瞬間となりました。

\* 今回は、波塚さんの計らいで、演奏者の間近に座ることができ、バイオリンやチェロといった普段目にする事のない楽器から奏でられる生の演奏を聴くことができました。

お忙しい中、素敵な演奏を聴かせていただいた牧野さん、佐藤さん、波塚さん、本当にありがとうございました。



## 樹音 音楽教室開催！！ ～ 子どもたちは体全体で音の世界を満喫しました～



10月21日(月)に音楽セラピー樹音の皆さんをお迎えして、1・2年生合同音楽教室を実施しました。写真はその様子を収めたものです。

ブラックパネルでの音楽劇(写真左)で

幕を開け、曲に合わせて体全体を使ったリズム運動(写真中)や読み聞かせなど時間のたつのも忘れて楽しむことができました。子どもたちの屈託のない笑顔が印象に残っています。最後に、樹音の方々と握手を交わしながら音楽教室は幕を閉じました。「音楽の力ってすごいな」と改めて感じる事ができました。

音の世界に魅了され、ゆったりとした時間を過ごすことができました

\* 芸術鑑賞、樹音 音楽教室は、いずれも『おびひろっ子絆支援事業』の一環として実施しています。

6年生の直向きな姿が光りました ～ 机の天板補修作業を通して ～



11月22日の5・6時間目に帯広市教育委員会企画総務課の三宅さんと橋本さんのお力添えをいただき、6年生が机の天板補修作業にチャレンジしました。自分たちが使ってきた机をひたすら磨きあげ、ワックスを塗りきれいに仕上げ

てくれました。自分たちが使う机ではあるけれど、このきれいな状態は5年生へと受け継がれます。この取組は、今や、歴代の6年生が受け継いできた本校の伝統行事とい

ても過言ではありません。今年の6年生も後輩たちに大きな背中を見せてくれました。6年生のみなさん大変お疲れ様でした。帯広市教育委員会企画総務課の三宅さんと橋本さん、お忙しい中、子どもたちに向き合ってください、本当にありがとうございました。

食育教室 “小麦のひみつ” ～ 3年生は、小麦の不思議や魅力について学習しました ～



食育指導専門員の干場敦子さん

11月22日の4時間目、3年生で、帯広市教育委員会食育指導専門員の干場敦子さんをお迎えし、食育教室を開催しました。“小麦のひみつ”と題して、十勝帯広の農業の様子をわかりやすくお話いただきました。また、教室から目を遠くに移してみると、黒っぽい土の中に緑のじゅうたんのように広がるスペースをはっきりと目に



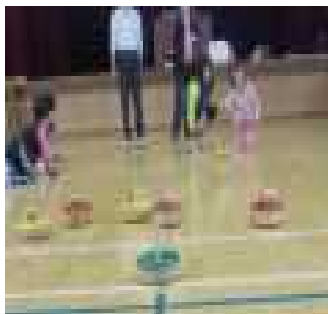
～ 秋まき小麦『ゆめちから』を手にする子どもたち ～  
他の品種に比べて、とげが太く長く、強力な弾力性に富む印象がありました。

することができました。「あの、緑のところは、何が植えられているかわかりますか」との問いかけに、「あれは、小麦だよ」と何人かが教えてくれました。ここ帯広大正でも私たちが口にしている小麦を作っていることを実感したところです。さらに、パンやピザ、うどんやパスタを作るのに適した小麦粉（薄力粉・中力粉・強力粉）があり、それぞれを上手に使い分けていることも教わりました。

小麦を通して、食への知識と理解を深めることができましたようです。

帯広市放課後子ども広場(子どもの居場所づくり)を終えて

今年度も4回の放課後子ども広場を実施することができました(本事業は、平成26年度より帯広市こども未来部青少年課の主催で実施されています)。延べ77名の児童が参加し、ボール遊びや工作などの遊びや学びを通して、生き生きと活動する子どもたちの姿を目にすることができました。



写真は、左から『フロアカーリングにふれよう』(6月20日), 『Tボールで遊ぼう』(7月11日), 『竹とんぼづくりにチャレンジしよう』(9月5日), そして『めいろボードを作ろう』(10月3日)の様子を収めたものです。

指導員の方々と触れ合いながら、学年を超えて様々な活動をする事ができたようです。参加した子どもたちからは、「楽しかったよ!」とか、「家に帰ってから遊ぶんだ!」、「次はいつあるの」といった声が上がっていました。

今年度の放課後子ども広場は終了となりましたが、多くの方々が子どもたちに向き合ってくださいのおかげで、子どもたちも色々な体験をすることができました。帯広市こども未来部青少年課をはじめ、NPOすきっぷの皆さんのお力添えに感謝いたします。

本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。